

第3期天草市有明地域まちづくり計画

～ともにつながり幸せを感じるまちづくり～

天草市 有明地域

策 定 日	令和5年3月1日
改 正 日	

第3期天草市有明地域まちづくり計画 目次

1	計画のあらまし	1～2
1.1	計画策定の趣旨	1
1.2	計画の性格	1
1.3	計画の期間	1
1.4	計画の体系	2
2	有明地域の概要	3～6
2.1	位置・地勢	3
2.2	面積・土地利用	4
2.3	人口・世帯数	4～6
3	計画の基本方針	7
3.1	計画の基本理念	7
3.2	部門方針	7
4	分野別行動計画	8～11
4.1	産業経済部門	8
4.1.1	特色・課題	8
4.1.2	具体的な振興方策	8
4.2	観光・文化部門	8
4.2.1	特色・課題	8
4.2.2	具体的な振興方策	8
4.3	地域振興部門	9
4.3.1	特色・課題	9
4.3.2	具体的な振興方策	9
4.4	教育部門	9
4.4.1	特色・課題	9
4.4.2	具体的な振興方策	9
4.5	生活環境・防犯防災部門	10
4.4.1	特色・課題	10
4.4.2	具体的な振興方策	10

5	計画の推進体制	11
5.1	実施	11
5.2	評価・改善	11
6	地域別計画	12～42
6.1	楠浦地区振興計画	12～15
6.2	大浦地区振興計画	16～20
6.3	須子地区振興計画	21～25
6.4	赤崎地区振興計画	26～29
6.5	上津浦地区振興計画	30～33
6.6	下津浦地区振興計画	34～38
6.7	島子地区振興計画	39～42

1 計画のあらまし

1.1 計画策定の趣旨

平成18年3月27日、2市8町が合併して天草市が誕生しました。市内各地域には、素晴らしい自然や独自の文化や歴史、豊かな農林水産資源、さらには、日々の生活で育まれた相互扶助の精神など、全国に誇れる地域資源が数多くあります。

しかしながら、今日、本市においては、人口減少の急速な進展による過疎地域の増加や担い手不足による地域産業の衰退、さらには市民ニーズの多様化や少子高齢化への対応など多くの課題を抱えております。

このような地域社会を取り巻く環境の変化を、住民一人ひとりが「自分ごと」、「みんなごと」と捉え、地域住民と行政協働のもと、地域の特色や個性を活かした活動をできるところから実行し、「地域力」を高めていくことが重要になっています。

まちづくりに関する施策を効果的・効率的に推進するためには、地域住民と行政が一体となって、体系的・計画的に取り組む必要があるため、本地域のまちづくりの指針となる「天草市有明地域まちづくり計画」を策定し、「未来へ続く魅力ある地域づくり」を推進し、その実現を目指すものです。

今回、第2期天草市有明地域まちづくり計画を検証し、地域の課題等を再確認するとともに内容の見直しを行いました。

1.2 計画の性格

本計画は、次のような性格を持っています。

- ① 長期的・総合的な視点から、本地域が目指す今後のまちづくりの基本的な方向を示しています。
- ② 本市が策定する「第3次天草市総合計画基本計画」と方向性を共有しながら、地域が主体となって策定する計画として策定します。
- ③ 本地域の地域住民や行政機関のみならず、まちづくり関係団体、企業、学校など、地域全体でまちづくりに取り組む方向性を示しています。

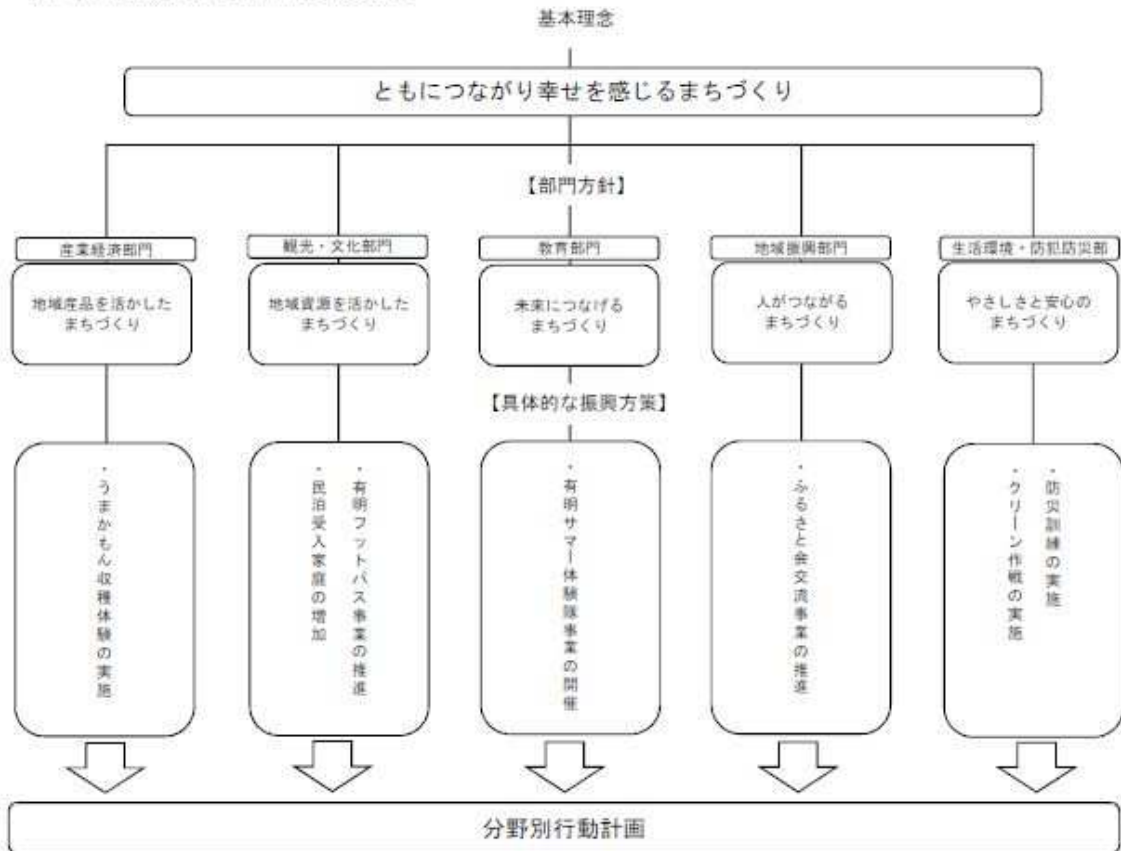
1.3 計画の期間

本計画の期間は、令和5年度から令和7年度までの3年間です。

また、実現すべき施策目標を設定するとともに、その施策目標を達成するために必要な計画を示したものです。

1.4 計画の体系

図1 天草市有明地域まちづくり計画の方策の体系



2 有明地域の概要

2.1 位置・地勢

本地域は、天草諸島内の上島に位置し、北西部に有明海、南東部は天草第二の高峰老岳（586.2m）を中心とした山並みが続き、豊かな自然と温かい人情を地域の宝としています。地域の区域は東西 24.8km、南北 3.85km と細長く、14 の中小河川の流れに沿って約 1,100ha の耕地が拓け、集落が形成されています。

また、地域には祖先から代々受け継がれた伝統文化があります。なかでも郷土芸能の大浦阿蘇神社例大祭での獅子舞、上津浦・下津浦・島子諏訪神社例大祭での太鼓踊りは江戸時代から 200 年～300 年以上にわたり現代に伝えられています。

産業面では、豊かな自然と温暖な気候を生かした農業や、有明海の豊饒の恵みを受ける漁業の第 1 次産業が基幹産業です。

観光面では、平成 6 年 7 月に開館した「道の駅有明リップルランド」とともに、新たな一歩を踏み出しました。リップルは「さざ波」という意味があり、有明海のおだやかな波が聞こえてくることからこの名前となりました。物産館と併設する温泉センター「さざ波の湯」、毎年夏の到来とともに開催する「さざ波フェスタ」もこの由来から命名されたものです。その他にも、毎年多くの海水浴客で賑わう「四郎ヶ浜ビーチ」やインパクト満点の「タコ入道」があります。

図 2 有明地域位置図



2.2 面積・土地利用

本地域の総面積は59.64 km²で、市面積の約8.7%を占めています。

土地利用については、全体の約80%を農地・山林で占めており、宅地・道路用地については約9%となっています。

表1 有明地域土地面積（平成30年10月1日現在）

	有明地域	天草市
面積 (km ²)	59.64	683.87
割合 (%)	8.7	100

（国土地理院九州地方測量部）

2.3 人口・世帯数

表2 有明地域の人口、世帯数の推移

区分	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
人口 (人)	6,057	5,510	4,977	4,511
世帯数 (世帯)	2,049	1,999	1,885	1,768
世帯当たり人員 (人)	2.96	2.76	2.64	2.55

（国勢調査）

図3 有明地域の人口、世帯数の推移

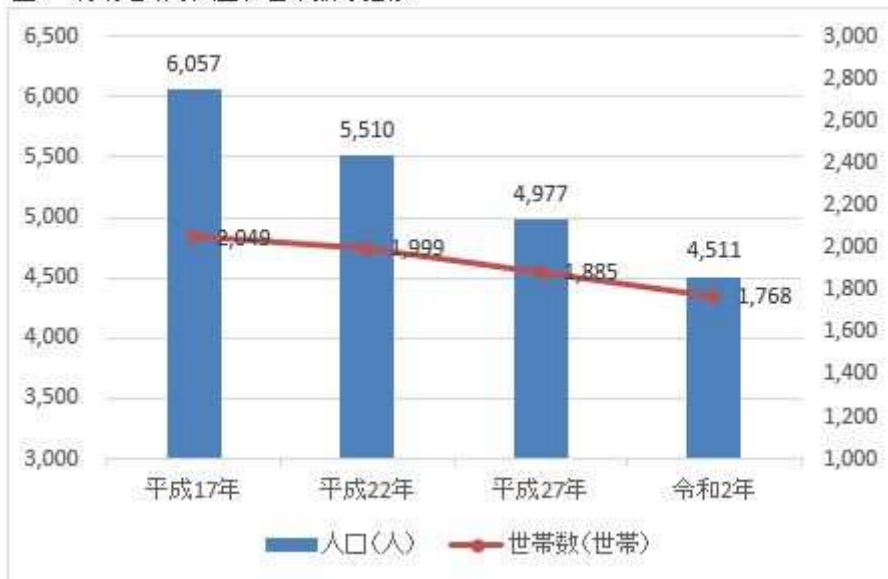


表3 有明地域の総人口、年齢階層別人口の推移

区分	平成17年		平成22年		平成27年		令和2年	
	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)
総人口	6,057	100.0	5,510	100.0	4,977	100.0	4,511	100.0
0～14歳	772	12.7	662	12.0	481	9.7	388	8.6
15～64歳	3,112	51.4	2,686	48.7	2,268	45.6	1,902	42.2
65歳以上	2,173	35.9	2,162	39.2	2,228	44.8	2,221	49.2

（国勢調査）

※総人口には年齢不詳者を含むため、年齢階層別人口の合計とは一致しません。

図4 有明地域の総人口、年齢階層別人口の推移

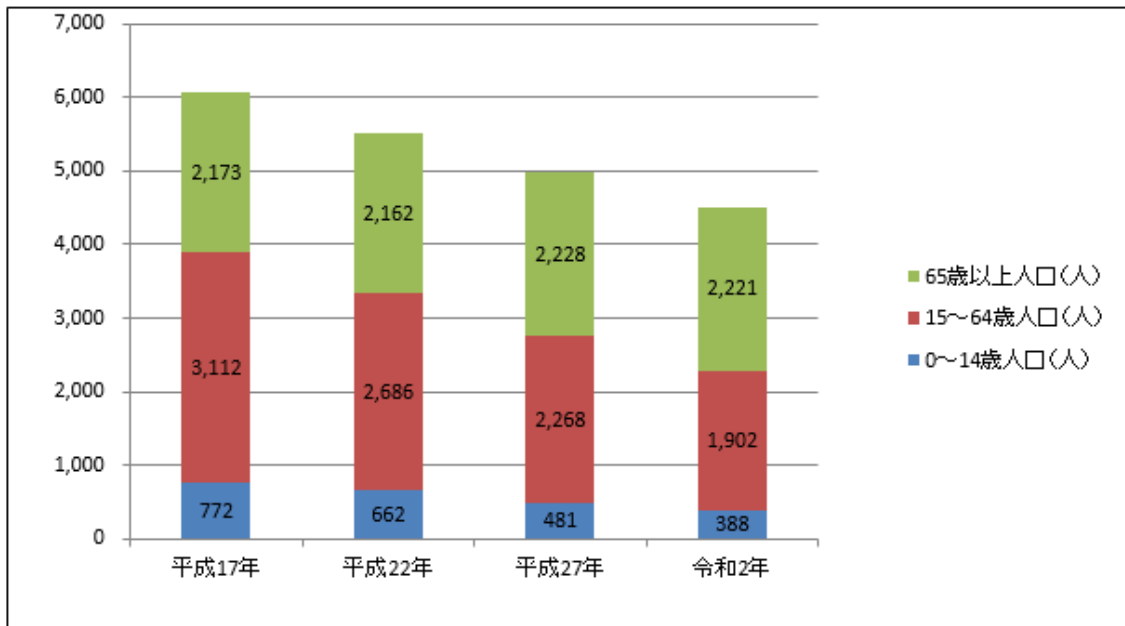


表4 有明地域の産業別就業者数の推移

区分	平成17年		平成22年		平成27年		令和2年	
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)
就業人口総数	2,767	100.0	2,467	100.0	2,227	100.0	2,010	100.0
第1次産業	688	24.9	537	21.8	486	21.8	393	19.6
第2次産業	536	19.4	407	16.5	396	17.8	368	18.3
第3次産業	1,543	55.8	1,512	61.3	1,345	60.4	1,243	61.8

(国勢調査)

※就業人口総数には産業分類不能者を含むため、産業別就業者数の合計とは一致しません。

図5 有明地域の産業別就業者数の推移

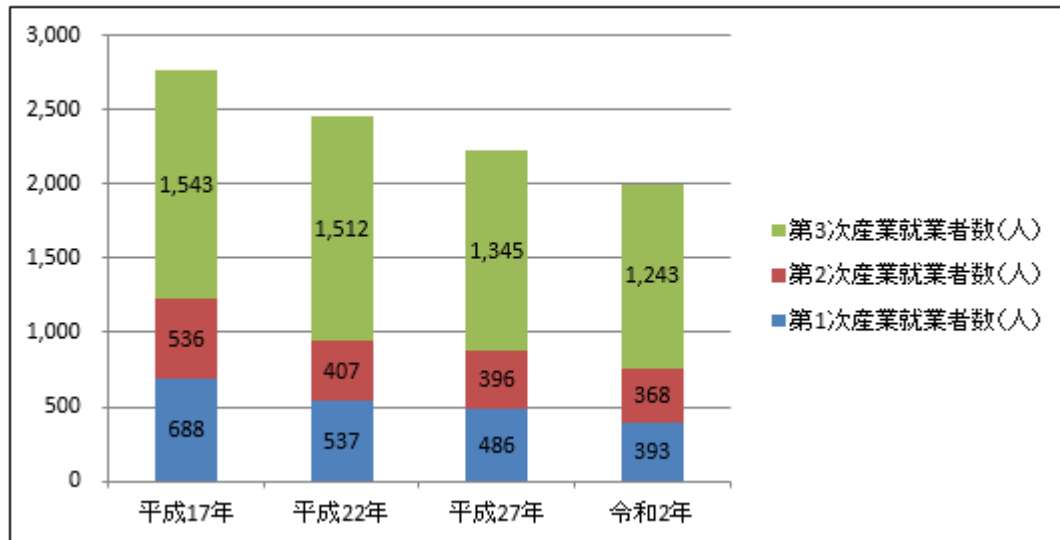


表5 有明地域の総人口、年齢階層別人口の推移（将来予測）

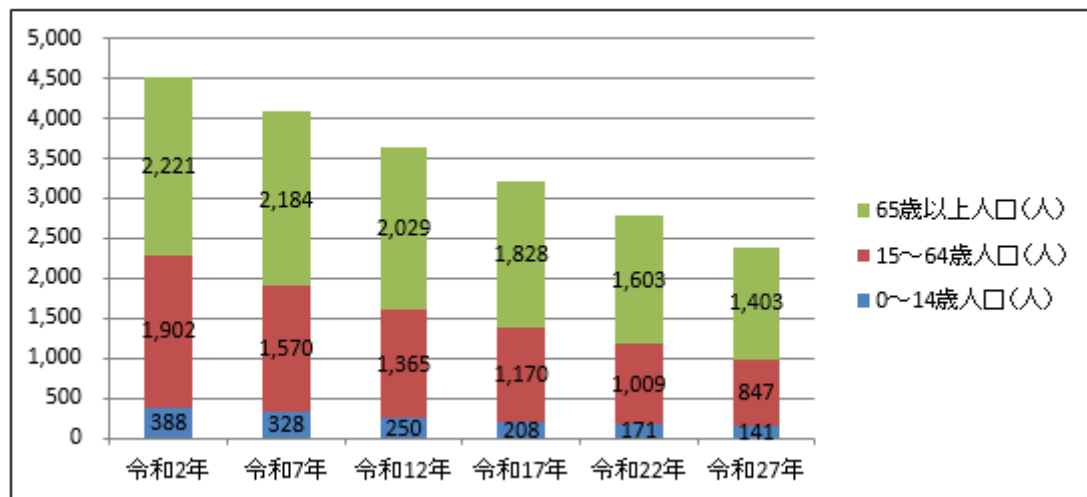
区分	令和2年		令和7年		令和12年	
	人口（人）	比率（％）	人口（人）	比率（％）	人口（人）	比率（％）
総人口	4,511	100.0	4,082	100.0	3,644	100.0
0～14歳	388	8.6	328	8.0	250	6.9
15～64歳	1,902	42.2	1,570	38.5	1,365	37.5
65歳以上	2,221	49.2	2,184	53.5	2,029	55.7

区分	令和17年		令和22年		令和27年	
	人口（人）	比率（％）	人口（人）	比率（％）	人口（人）	比率（％）
総人口	3,206	100.0	2,783	100.0	2,391	100.0
0～14歳	208	6.5	171	6.1	141	5.9
15～64歳	1,170	36.5	1,009	36.3	847	35.4
65歳以上	1,828	57.0	1,603	57.6	1,403	58.7

（令和2年：国勢調査、令和7～令和27年：市政策企画課）

※平成27年(2015年)から令和2年(2020年)の国勢調査の人口推移を基に、コーホート変化率法を用いて令和7年から令和27年までの将来予測人口を算出。

図6 有明地域の総人口、年齢階層別人口の推移（将来予測）



3 計画の基本方針

3.1 計画の基本理念

ともにつながり幸せを感じるまちづくり

本地域において、生活スタイルやまちづくりに対するニーズが多様化・複雑化する中で、地域住民一人ひとりの主体的な取り組みを基本としつつ、地域住民と行政の協働のもと、継続的にまちづくりを実践できるように、様々な課題に計画的に取り組むことが重要になってきます。

地域住民一人ひとりが主役となり、できることから始め、その輪を少しずつ広げる、そのようなまちづくりの基本理念を「ともにつながり幸せを感じるまちづくり」とし、生きいきとした個性ある有明まちづくりを推進します。

3.2 部門方針

本計画の基本理念に即し、次のとおり分野別に方針を定め、本地域のまちづくりを展開します。

①産業経済部門

地域産品を活かしたまちづくり

②観光・文化部門

地域資源を活かしたまちづくり

③教育部門

未来につなげるまちづくり

④地域振興部門

人がつながるまちづくり

⑤生活環境・防犯防災部門

やさしさと安心のまちづくり

4 分野別行動計画

各地区におけるアンケート等で、本地域の特色と課題を分野別に洗い出しました。また、部門方針及びそれに基づいた具体的な方策を本地域全体で検討し、地域主体で取り組むもの、地域と行政との協働で取り組むもの、行政主体で取り組むものを分野別に分類しました。

4.1 産業経済部門

4.1.1 特色・課題

特色	①美味しい農産物、海産物が獲れる。
課題	①第一次産業の後継者不足

4.1.2 具体的な振興方策

特色	課題	具体的な振興方策	目標数値等	実施期間				実施主体	基本計画 対応番号
				短期			長期		
				R5	R6	R7			
①	①	うまかもん収穫体験の実施	100人以上の参加	→				まち協 + 教育機関	政策 11

4.2 観光・文化部門

4.2.1 特色・課題

特色	①観光・文化資源が豊富 ②地域住民の人柄が良い
課題	①町を訪れる観光客が減少傾向

4.2.2 具体的な振興方策

特色	課題	具体的な振興方策	目標数値等	実施期間				実施主体	基本計画 対応番号
				短期			長期		
				R5	R6	R7			
① ②	①	有明フットパス事業の推進	年3回のイベントツアーを実施し、50人以上の参加	→				まち協	政策 16
① ②	①	民泊受入家庭の増加	民泊受入家庭10世帯	→				まち協 + 民泊の会	政策 16

4.3 地域振興部門

4.3.1 特色・課題

特色	①住民自らが取り組む地域づくり活動
課題	①人口減少、少子高齢化による地区振興活動の停滞

4.3.2 具体的な振興方策

特色	課題	具体的な振興方策	目標数値等	実施期間				実施主体	基本計画 対応番号
				短期			長期		
				R5	R6	R7			
①	①	ふるさと交流会事業の推進	各交流会へ年1回参加	→				まち協	

4.4 教育部門

4.4.1 特色・課題

特色	①様々な体験ができる環境が整っている
課題	①周知・PR不足により認知度が低い

4.4.2 具体的な振興方策

特色	課題	具体的な振興方策	目標数値等	実施期間				実施主体	基本計画 対応番号
				短期			長期		
				R5	R6	R7			
①	①	有明サマー体験隊事業の開催	年1回以上開催し、参加者10人以上	→				まち協 + 公民館	政策 8

4.5 生活環境・防犯防災部門

4.5.1 特色・課題

特色	①豊かで美しい海や山がある
課題	①美しい海や山の維持、自然災害への備え

4.5.2 具体的な振興方策

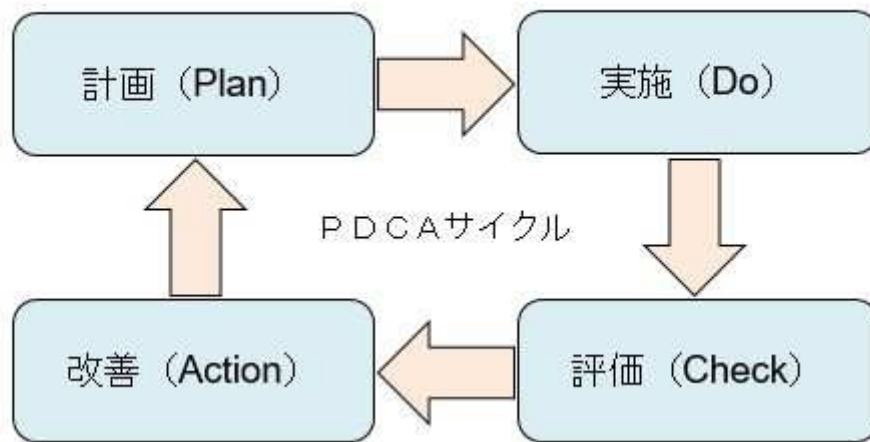
特色	課題	具体的な振興方策	目標数値等	実施期間				実施主体	基本計画 対応番号
				短期			長期		
				R5	R6	R7			
①	①	防災訓練の実施	年1回実施	→				地区 振興会	政策 30
①	①	クリーン作戦の実施	年1回実施	→				地区 振興会	政策 26

5 計画の推進体制

本計画の推進体制については、有明まちづくり協議会を中心に関係団体及び行政と連携し推進するとともに、進捗状況及び目標の達成度等を年度毎に把握・評価を行い、地域情勢及び社会情勢の変化等も勘案し、必要に応じて計画の内容の見直しを行います。

その手法として、計画（Plan）、実施（Do）、評価（Check）、改善（Action）を繰り返すPDCAサイクルを用いて、継続的に計画を改善していきます。

図7 天草市有明地域まちづくり計画の評価・見直し(PDCAサイクル)




5.1 実施

本計画に基づく施策の実施にあたっては、各実施主体を中心に有明まちづくり協議会、関係団体及び行政と連携し実施します。また、必要に応じて実行委員会を設置し施策の推進を図ります。

5.2 評価・改善

本計画に基づく施策の実施状況等については、毎年度 1 回以上有明まちづくり協議会で評価を行うとともに、社会環境・地域環境の変化等も勘案し、必要に応じて計画の内容を見直します。

地区の概要(R2国勢調査参考)		 <p style="text-align: center;">楠甫の水田地帯</p>	
面積(km ²)	10.7		
人口(人)	総人口		457
	15歳未満		35
	15～64歳		187
	65歳以上		235
高齢化率(%)	51.4		
就業人口(人)	第1次産業		43
	第2次産業		46
	第3次産業		118
世帯数(世帯)	総世帯数	205	
	高齢単身者	57	
行政区数(区)	5		
学校	無		
文化財・史跡	六地藏、五輪塔、流人墓、仏崎観音など各地区神社等・楠甫城跡		
その他地域資源	地区の中心に広がる水田地帯、楠甫グラウンドの桜		
地域伝統芸能	文化芸能の祭典(村祭り)、どんどや		
地域づくり団体	老人会、楠甫環境保全会		
地区のいいところ・自慢できるところ			
<p>楠甫地区は、古くから干拓地を開拓し稲作を中心に発展してきた。しかし、水害の常襲地帯であったため、平成9年度に県営ほ場整備事業で約65haの農地を再整備すると同時に、楠甫川の河川改修が行われた。以来、温暖な気候を活かした水稻、果樹等農業を中心とした風光明媚な準農村地帯と、海岸付近の漁業集落とが合わさり多様な地域を形成している。</p> <p>また、昔から各区の氏神様として八つの神様と三つの観音様が祀られる信仰深い地区である。</p> <p>この地域資源を活かし、地区を市内外へPRする手法として平成20年度から「くすぼフェスタ」を継続して開催している(令和2年度～感染症拡大予防のため中止)。</p>			
地区が抱える課題・困っていること			
<p>楠甫地区においては、少子高齢化の進行と共に地域内に職場が少ないため若者の流出が続き、高齢者のみの世帯も急増する中で地域コミュニティの希薄化が顕著である。また同時に農業・漁業の後継者不足により、地域経済の停滞、耕作放棄地の増加による地域環境・景観の維持も危ぶまれている。</p> <p>地区振興会の活動についても、参加者が固定化する傾向にあり、各区からの役員の選出も難しくなってきた中であって、いかにして地域コミュニティの醸成を図るかが課題になってきている。</p>			

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	神々の郷づくり
考え方	古くから集落ごとに氏神様を祀ってきた各区のコミュニティ力を維持し、住民が安心して暮らせる環境づくりを目指す

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	<ul style="list-style-type: none"> ・農業を基幹産業としている ・人口減少に伴い、後継者不足に拍車がかかっている ・耕作放棄地、獣害が増加している 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域資源を活かすまちづくり ・農地などの地域資源をコミュニティづくりに活かす
【B】 観光 ・ 文化	<ul style="list-style-type: none"> ・各区で氏神様を祀るコミュニティが形成されている ・人口減少が進み、コミュニティの担い手が年々減少傾向にある 	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史・文化を学び受け継ぐまちづくり ・地域の歴史、文化を将来の世代に受け継ぐ
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> ・世代の隔たりなく子どもから高齢者まで参加できるイベントが必要 ・交流人口を増やすため、対外的な地域の認知度を上げていく取り組みが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○世代を超えて「郷土」を感じるまちづくり ・多くの住民が参加し交流できる事業を実施する ・地域外からの来訪者を誘致し、交流人口を増やす
【D】 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの数が減少しており、地域住民と触れあう機会が少ない ・少子化は今後も継続する見込みで、子どもの数が極端に少ない地域になる可能性が高い 	<ul style="list-style-type: none"> ○未来の大人を地域で育むまちづくり ・ふるさとを自慢できる大人に育てる事業を実施
【E】 保健・医療 ・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・独居高齢者が増加しており、孤立化を防止する必要がある ・子育て世代の共働きが増え、学校の長期休みの際の世話に苦慮している 	<ul style="list-style-type: none"> ○笑顔が集うまちづくり ・子どもや高齢者が気軽に、継続的に集える事業を実施
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家、空き地の草木の手入れ不足など、住環境は年々悪化している ・災害が頻発化しているが、避難者が高齢化しており、支援が必要となっている 	<ul style="list-style-type: none"> ○安心安全なまちづくり ・きれいな住環境を維持する事業を実施 ・円滑な避難行動や避難所運営をサポートする
【G】 都市基盤整備		
【H】 総務・企画	<ul style="list-style-type: none"> ・振興会役員の後継者が不足している 	<ul style="list-style-type: none"> ・振興会の組織力強化 ・振興会活動のPRを実施

楠甫地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期 4年以上		
				R5	R6	R7			
A	惣菜作り	加工グループにより火・金に惣菜等を製作し販売する。買い物弱者である高齢者世帯への配達も実施	週2回を維持	→				加工G+振興会	
A	ふれあい事業	耕作放棄地を活用し、野菜を栽培。楠甫住民相互の交流を図るとともにフェスタ時の収穫体験や賞品等に活用	参加者数100人	→				振興会	
B	文化芸能の祭典	10月第3土曜日に楠甫地区全住民に呼びかけ文化展、演芸会を開催	参加者数200人	→				実行委+振興会	
B	桜祭り	楠甫グラウンド桜の開花時期に合わせ夜間ライトアップを実施。期間内に地区住民交流の場として「お花見歌祭り」を開催。	参加者数100名	→				振興会	
C	地区球技大会	春季、秋季にグラウンドゴルフ大会を開催。幅広い世代の住民の交流を図る。	参加者数150名(2回計)	→				振興会	
C	どんどや	1月第1日曜日に新年の伝統行事としてどんどや(鬼火焼き)を実施し、地域の一体感の高揚を図る。	参加者数100名	→				振興会	
C	くすぼフェスタ	地区外からの交流人口増大を目的に、2月第1週の日曜日にウォーキング・バザー等のイベントを開催。	200名の集客を目標	→				実行委+振興会	
D	子ども集いの広場	夏休み期間に3回、冬休みに1回程度予定。高齢者を指導者とした遊びの伝承やレクリエーションを行う。	小学生全員の参加	→				振興会	
E	敬老会	9月の第2土曜日に開催。式典やアトラクションで敬老者をお祝い。各地区からの協力者とともに運営する。	敬老者100名参加	→				協働(区+振興会)	
E	一人暮らし弁当配布	年3回(5・11・2月)実施。一人暮らし高齢者へ弁当を製作し、見守りを兼ねて訪問配布する。	年3回実施	→				協働(振興会+社協)	
F	クリーン作戦	7月第1日曜日に地域内の道路、河川の清掃を実施、また10月には各地区の除草作業を実施。	各世帯から1名程度の参加	→				協働(区+振興会)	
F	花ば植ゆうかい	沿道の空き地に花を植えることで、地域の美化と環境意識の向上を図る。	年2回植え付け	→				振興会	
F	公園整備事業	・楠甫川防潮水門横の植樹帯整備 ・楠甫グラウンド桜並木の整備、植え替え	年1回実施	→				振興会	
H	振興会だより発行	振興会の活動を住民にPRするため、「振興会だより」を発行する	年6回程度発行	→				振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

楠甫地区振興計画 行動計画

②新たに取り組むべき事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期 5年以上		
				R5	R6	R7			
B	地区文化展	保育園児から高齢者まで、地区住民の文化作品をコミュニティセンターで展示する。	年1回開催					振興会	
B	歴史文化伝承事業	地区の歴史・文化に詳しい方々から話を聞き、後世に伝えるため音声データ化(もしくは文書化)する。	年1~2名にヒアリングを実施					振興会	
E	高齢者サポート事業	高齢者同士でのコミュニケーション向上を図るため、各種施策を紹介し、取り組みをサポートする。	振興会だよりに年3回記事掲載					協働 (振興会+社協)	
F	避難者支援事業	避難時の支援等が必要な方のサポート及び避難所環境の整備充実を図る。	災害時連絡網等を毎年更新					協働 (区+振興会+社協)	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km ²)	6.96	
人口(人)	総人口	513
	15歳未満	49
	15～64歳	225
	65歳以上	239
高齢化率(%)	46.6	
就業人口(人)	第1次産業	54
	第2次産業	43
	第3次産業	142
世帯数(世帯)	総世帯数	223
	高齢単身者	46
行政区数(区)	5	
学校	有明小学校、有明中学校	
文化財・史跡	大浦阿蘇神社、ビクン石、閻魔堂(九品寺)、城守様、六地藏さま、流人寄進大蓮台(蓮華台)、寄り人さま、弁財天さま、石かむり地藏さん、桑の浦塩神様、竹島古墳、台田古墳、荒潮古墳、神ノ元古墳、新地の箱式石棺、盗人が岩古墳、釘嶋陸越古墳、釘嶋龍崎古墳、朝鳥古墳、大浦城址	
その他地域資源	竹島、飛龍島、大浦港、大浦花公園、花工房、旧大楠小学校、旧有明東中学校、旧天草東高校	
地域伝統芸能	大浦阿蘇神社秋季例大祭(神幸行列・獅子舞)、米作り絵巻、大浦の子守唄	
地域づくり団体	第一・二老和会、大浦子ども会	
地区のいいところ・自慢できるところ		
<p>私達が住む大浦は、山・川・海の自然環境に恵まれ、特に有明海を望む海岸線の景観が素晴らしい地域です。また、デコポンをはじめとする柑橘類や定置網・底引き網漁で水揚げされる多彩な水産物など自然の恵みも豊富なところです。</p> <p>地区内には、閻魔堂やビクン石などの文化財や古墳などの史跡に加え、天草五橋開通前まで天草の玄関口として、天草と九州本土を結ぶ貴重な定期船が運航していた大浦港など歴史的資源が多数点在しています。</p> <p>大浦住民の特徴としては、人情豊かで温厚な人が多く、特に女性や高齢者に元気があり、何をするにもまともりがあるとところが自慢です。</p>		
地区が抱える課題・困っていること		
<p>①地域に商店がなく、買い物が不便</p> <p>②人口減少や少子高齢化(若者の減少)による第一次産業の後継者問題や自治活動の担い手不足</p> <p>③医療機関の廃業に伴い受診が不便</p> <p>④イノシシ、タヌキなどの獣害が多い</p> <p>⑤耕作放棄地・空き地・空き家の増加に伴う地域の荒廃</p>		



大浦阿蘇神社

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	小さくても”キラリ”と光る大浦
考え方	豊かな自然と地域資源を活かし、人と人との繋がりを大切に、共に支えあい、笑顔が絶えない、安心して暮らせる地域を目指す。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	・自然豊かな環境を有しているが、後継者不足、獣害、耕作放棄地の増加など多くの課題を抱えている。	一次産業を利用して都市部との交流を図り、生産物のPR・関係者の所得安定に繋がるような事業を行う。増加する耕作放棄地の解消に向けた取り組みを推進する。 ・大浦の郷構想事業 ・ひと網オーナー制度の推進
【B】 観光 ・ 文化	・少子高齢化が著しく、地区に伝わる伝統芸能を継承する後継者が育ちにくい。 ・地域資源(自然・歴史遺産など)を有効に活用していない。	伝統芸能の保存と継承。地域にある資源の有効活用を行う。 ・伝統芸能の保存 ・老岳登山探検隊 ・案内板設置事業
【C】 地域 振興	・過疎化、少子高齢化に伴う人口減少により、地域振興の担い手の減少や地域コミュニティを将来に引き継いでいくことが難しくなっている。	地域内交流や世代間交流のために、子どもから高齢者まで参加できる事業を展開する。 ・地区球技大会 ・大浦ふれあい祭り ・大浦“大”花見
【D】 教育	・少子化や体験活動の不足により、子ども達の「生きる力」が損なわれがちである。 ・子育て世代の共働き世帯が増え、学校が長期休みの場合での、育児に苦慮している。	子ども達の居場所を提供し、健全育成に寄与する。 ・子どもサロン事業
【E】 保健・医療 ・福祉	・独居老人の数が増加し、孤立化の傾向がある。 ・地域唯一の病院の閉鎖により、病院受診が困難となっている。	住民同士が支え合い健康で安心して暮らせる環境づくりを行う。 ・高齢者の交流の場づくり(含む敬老会) ・高齢者の見守りネットワークの構築 ・一人暮らし弁当サービス事業
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	・空き家や耕作放棄地等、年々悪化している。 ・ボランティアグループによる花壇の整備などで景観を維持しているが、高齢化により限界にきている。 ・公共交通が脆弱である。	環境に対する意識改革など住民総出で美しい環境作りに努める。また、住民の防犯・防災意識を高め、安心・安全な環境づくりを行う。交通弱者対策を構築する。 ・花いっぱい運動 ・クリーン作戦 ・自主防災組織活動の充実
【G】 都市基盤整備		
【H】 総務・企画		

大浦地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期		
				R5	R6	R7			
A	ひと網オーナー制度	定置網:15,000円。漁を体験し、採れた魚全量がオーナーのものになるもの。	体験者数500人以上					振興会 漁協	
A	大浦の郷構想事業(天草市大浦田舎暮らし体験)	「大浦の郷」に向けた事業を進めるため、試験的に「田舎暮らし体験」を実施し、田んぼ約1反分(20組)の田植えや稲刈り及び年間事業の体験者を募集。	年10組以上の体験者					振興会	
B	伝統文化保存事業	10月第3土日曜日に行われる村祭りの雰囲気醸成するために、沿道沿いに箱灯ろうを設置する。	年1回実施					振興会	
B	大浦地区伝統文化保存会	大浦阿蘇神社の秋季例大祭に行われる神幸行列などの保存・継承を行う。	年2回以上会議を開催					振興会 + 神社 + 区長	
C	ライトアップ事業	大晦日の夜に大浦阿蘇神社一帯をライトアップ。	年1回実施					振興会	
C	大浦ふれあい祭り	地区住民手作りのお祭り。毎年11月第1日曜日に船津分館一帯を会場に実施。	来場者150人以上					振興会	
C	フットパスを楽しもう	有明まちづくり協議会において策定した大浦地区フットパスコース(海・山)を活かしてフットパスを体験する事業を実施。	年1回体験事業等を実施					振興会	
C	地区球技大会	6月第1日曜日にグラウンドゴルフ大会を開催。	150人以上参加					振興会	
C	大浦"大"花見	大浦グラウンドにおいて、全住民を対象とした花見を開催	100人以上参加					振興会	
C	老岳登山探検隊	大浦地区から老岳山頂までの登山道を維持・整備し、イベントを通じて地域資源の活用を行う	年1回イベント事業を実施					振興会 + 行政	
D	子どもサロン事業	夏休み期間中、コミュニティセンターを開放して、映画鑑賞や料理体験などを行い子ども達を見守る。	年2回イベント事業を実施					振興会 + 食改	
E	緊急連絡先カード作成事業	高齢者のみの世帯などに緊急連絡先カードを作成し常設してもらおう。対象家庭は部会員が見守りを行う。	年1回見直す					振興会	
E	福祉交流のつどい	高齢者と部会員がコミュニティセンターでゲームや食事会を通じて交流を図る。	20人以上参加					振興会	

大浦地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期 4年以上		
				R5	R6	R7			
E	いきいき教室	高齢者と部会員がゴキブリ団子等のものづくりや昼食会を通じて交流を図る。	20人以上参加	→				振興会	
E	敬老会	地区内の76歳以上の方を対象に敬老者を祝う会を実施。	年1回実施	→				振興会	
E	一人暮らしへの弁当づくり配布事業	一人暮らしなどの高齢者へお弁当を配布。	年2回実施	→				振興会	
F	自主防災活動	各区等で避難場所を定め、自主防災会や消防団と連携し防災訓練を行う。	年1回防災訓練を実施	→				振興会 + 支所	
F	クリーン作戦	年2回(7月・10月)全住民による清掃作業を行い、環境美化に努める。	年2回実施	→				振興会 + 区長	
F	花いっぱい運動	国道沿いやコミュニティセンターの花壇、大浦花公園などに花を植栽し景観性を向上する。	年2回花苗植え実施	→				振興会	


※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

大浦地区振興計画 行動計画

②新たに取り組むべき事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期 5年以上		
				R5	R6	R7			
A	無人販売所の開設	地産地消を目指し、地区住民のための無人販売所の開設を目指す	地区内に1か所開設	→				振興会	
B	案内板設置事業	文化財や史跡の案内板を作成し設置する。 なお、手作りで温かみのある物を作成し、地域景観向上に寄与する	年に1か所	→				振興会	
F	生活の足確保事業	地元タクシー業者と協力し、生活の足を確保する事業の検討を行う	3年以内に事業の確立を目指す	→				振興会 + 業者	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

地区の概要(R2国勢調査参考)		 <p style="text-align: center;">須子地区の全景</p>	
面積(km ²)	4.2km ²		
人口(人)	総人口		429人
	15歳未満		22人
	15～64歳		149人
	65歳以上		258人
高齢化率(%)	60.1%		
就業人口(人)	第1次産業		33人
	第2次産業		23人
	第3次産業		107人
世帯数(世帯)	総世帯数	154世帯	
	高齢単身者	37世帯	
行政区数(区)	2区		
学校	なし		
文化財・史跡	鬼塚古墳、恵比寿神・恵比寿様、八幡神、塩釜神、山の神、須子諏訪神社、稲荷社、忠魂碑、禮崎久左エ門慰墓碑、観音堂(天草四国八十八ヶ所霊場第拾五番札所)・地藏様、寄人供養碑(寄り人様)、権現神、老岳大神、天満宮、牧の神、天神様、八坂神社(祇園様)、菅原神社、生目神社、三王大権現、十五社宮、天理教天島分教会、金毘羅神、生産豊作の神、キノドン様、地の神		
その他地域資源	神楽崎(高岩)、聖田の碑、須子小学校百周年記念碑・閉校記念碑、須子桜運動公園、天空ガーデン(オープンガーデン)		
地域伝統芸能	獅子舞、神楽太鼓、神楽舞		
地域づくり団体	区長会、老人会、子ども会		
地区のいいところ・自慢できるところ			
まちづくり活動が活発／半径500m以内に集落が収まり地理的条件が良い／地区住民の団結力が強い／力強いリーダーの存在			
地区が抱える課題・困っていること			
人口減少／少子高齢化／後継者問題(若者の減少)／自治活動の体制(担い手不足)／生活基盤の低下(保育所、小・中学校や病院等が近くにない)／高規格道路開通により沿線商店の活力低下			

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	<h2>日本一心豊かに暮らせるまちづくり</h2> <h3>～“須子に住んで良かった”と心から言える地域を目指して～</h3>
考え方	地区住民が「ここに住んで良かった」、出身者が「ここに生まれてよかった」と誇りを持って心から言えるような、日本一心豊かに暮らせる地域づくりに取り組む。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	<ul style="list-style-type: none"> ・地元農産物の加工・販売に取り組んでいる団体がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地元農産物を活用したまちづくり ・農産物加工・販売の支援
【B】 観光 ・ 文化	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで引き継がれてきた伝統文化を継承し、郷土愛の醸成、地域内交流を図っている。 ・伝統文化の担い手が不足している。 ・少子高齢化が進んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○伝統行事を次世代へ繋ぐまちづくり ・十五夜 ・神楽殿展示会 ・鬼火焼き
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な機会を通じ、地域内・世代間の交流、出身者との交流、地域情報の発信を行い、地域の活性化を図っている。 ・地域づくり活動の担い手が不足している。 ・地域づくり活動が一部の人に集中している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域内・世代間の繋がりが強いまちづくり ・夏祭り ・地区球技大会 ・振興会だより発行 ・ホームページ運営 ・関西有明会出席
【D】 教育		
【E】 保健・医療 ・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・地域一体となって、高齢者等の見守り体制づくりに努めている。 ・地区住民の繋がりが強い。 ・高齢化が進んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者等を大切にするまちづくり ・介護予防事業 ・敬老会 ・一人暮らし弁当配布事業
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい地域・環境の保全のため、クリーン作戦や農道・海岸等の清掃活動を実施している。 ・次世代を担う子どもたちに、きれいな川と海を残すために、EMを中心とした環境浄化活動を推進している。 ・防災意識の高揚を図るため、防災訓練、津波避難訓練に取り組んでいる。 ・助け合いの精神が根付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○美しい地域・環境を次世代へ残すまちづくり ・EMじゃぶじゃぶ事業 ・ゴキブリ団子作り事業 ・クリーン作戦 ・農道整備事業 ・EM石けん作り事業 ・景観整備事業 ・お宝整備事業 ○助け合い・防災意識の高いまちづくり ・防災予防事業 ・津波避難訓練
【G】 都市基盤整備		
【H】 総務・企画		

須子地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期		長期			
				R5	R6	R7	4年以上		
A	農産物加工支援事業	農産物加工品(いちごジャム、うめジャム、マーマレード)の製造・販売の支援を行う。	通年実施	→				振興会	
B	十五夜	子ども会との共催。十五夜の綱引き・相撲を実施する。	年1回実施	→				振興会	
B	神楽殿展示会	須子諏訪神社の神楽殿において、地域住民が手掛けた作品を展示する。	年1回実施	→				振興会	
B	鬼火焼き	須子漁協前広場において、鬼火焼きを実施する。	年1回実施	→				振興会	
C	夏祭り	須子コミセンにおいて、夏祭り(イベント・パザール等)を実施する。	年1回実施 来場者数100人以上	→				振興会	
C	地区球技大会	須子桜運動公園において、区対抗のミニバレーボール及びグラウンドゴルフ大会を実施する。	年1回実施 参加者数100人以上	→				振興会	
C	振興会だより発行	振興会だよりを2ヶ月に1回発行し、地区内の情報を発信する。	年6回発行	→				振興会	
C	ホームページ運営	ホームページを概ね2ヶ月に1回更新し、地区内の情報を発信する。	年6回更新	→				振興会	
C	関西有明会出席	関西有明会の総会に地区の代表者が出席する。	年1回出席	→				振興会	
E	介護予防事業	高齢者を対象とした健康体操教室・いきいきサロン等の支援を行う。	年12回以上実施	→				振興会	
E	敬老会	満年齢75歳以上の方々のご長寿のお祝いと地域貢献に敬意を表し、敬老会を実施する。	年1回実施	→				振興会	
E	一人暮らし弁当配布事業	一人暮らしの高齢者へ手作り弁当を配布する。	年2回実施	→				振興会	
F	EMじゃぶじゃぶ事業	自然環境改善のため、EM菌培養液を地区内の河川等へ流す。	年6回以上実施	→				振興会	

須子地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期		
				R5	R6	R7	4年以上		
F	ゴキブリ団子作り事業	ゴキブリ団子を作り、地区内の全世帯へ配布する。	年1回実施	→				振興会	
F	クリーン作戦	天草市有明支所との共催。地区内の除草・清掃作業を実施する。	年1回実施 参加者数100人以上	→				(協働)行政+振興会	
F	農道整備事業	農道・市道等の除草・清掃作業を実施する。	年2回実施 参加者数100人以上	→				振興会	
F	EM石けん作り事業	EM石けんを作り、地区内の全世帯へ配布する。	年1回実施	→				振興会	
F	景観整備事業	景観維持・改善のため、地区内の除草・清掃作業を実施する。	年1回実施	→				振興会	
F	お宝整備事業	平成22年度に作成した「須子お宝マップ」に掲載されている各所の経路等の除草・清掃作業を実施する。	年1回実施	→				振興会	
F	防災予防事業	初期消火や救急救命等の訓練を実施する。	年1回実施 参加者数100人以上	→				振興会	
F	避難訓練	天草市有明支所との共催。各種災害を想定した避難訓練を実施する。	年1回実施 参加者数100人以上	→				(協働)行政+振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km ²)	6.56	
人口(人)	総人口	634
	15歳未満	50
	15～64歳	292
	65歳以上	292
高齢化率(%)	46.1	
就業人口(人)	第1次産業	80
	第2次産業	46
	第3次産業	187
世帯数(世帯)	総世帯数	258
	高齢単身者	47
行政区数(区)	6区	
学校	有明小学校、有明中学校	
文化財・史跡	北野庄屋敷跡、イカナゴ漁上原典礼先生の記念碑、黒砂糖の祖前田市右衛門氏記念碑、寄り人様供養塔、キリシタン軍上陸の地、昭和天皇巡幸関係の碑	
その他地域資源	國之常立神社、弁財天神社、愛宕神社、栗島様、八幡宮、赤崎神社、八坂神社、大神宮、稻荷神社、天満宮、金毘羅宮、御幸ヶ浜、旧赤崎小学校跡、温州みかん、デコポン、天草晩柑、ポンカン、サワラ、たこ、干しダコ、タコめし、たこ味噌、だご汁	
地域伝統芸能	秋祭り子ども神輿、鬼火焼き	
地域づくり団体	子供会、婦人会、老人会、宮浜会、琉球國祭り太鼓	
地区のいいところ・自慢できるところ		
<p>赤崎地区は、今まで先人たちが築き上げ受け継いでこられた赤崎に対する「強い思い」と人と人とのつながりである「固い絆」を大切にすることによって、「家族」や「隣人」そして「地域」を思いやる心を育んできました。「伝統」や「文化」を次の世代へ末永く引き継ぐためにも、住民一人ひとりが地域づくりに参加しています。また、各種サービス施設(信用金庫、農協、郵便局)や消防署などの施設が集まっている。</p>		
地区が抱える課題・困っていること		
<p>① 少子高齢化による人口の減少 ② 進学や就職による若者の流出 ③ 第一次産業の後継者問題(後継者の嫁問題) ④ 自治活動の体制維持(担い手不足) ⑤ 生活基盤の低下(保育園・小学校・商店・病院の閉鎖) ⑥ 高規格道路の開通による沿線商店の活力低下および閉鎖 ⑦ 空き家や耕作放棄地の増加 ⑧ 移住者とのトラブル発生時の対応策 ⑨ コロナ禍における社会生活への影響とコミュニティの崩壊</p>		



「赤崎名物の干しダコたち」

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	「海・山・ひと…田舎再発見！」
考え方	赤崎地区は海や山などの自然資源に恵まれ、また数多くの文化財や史跡が残る地域であるため、その地域資源を活かして住民一人ひとりがまちづくりを目指す。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化による農業、漁業の担い手、後継者不足のため耕作放棄地や鳥獣被害が増大している ・長引くコロナ禍のため社会経済活動が停滞している ・平成29年1月から赤崎保育所跡地に、海苔のメーカーである(株)通宝の製造工場「天草通宝factory」が進出し、地元雇用や発展に期待されている ・「かのやCafé」が2021年にオープン 	<ul style="list-style-type: none"> ・先行き不透明なコロナ禍の中で、社会活動全般に対する見直しをするいい機会(チャンス)と捉えると共に、「ウィズコロナ」の考え方を基本とする。 ●フットパス(まち歩き)を通じて、市内外からの交流人口の増加を図ると共に、有明小の児童に対し「赤崎まち探検」をする事により自然や人、歴史に関心をもってもらう。 ●デコボン等の農産物、タコ、サワラ等の海産物のPR及び販売 ●新型コロナウイルス感染拡大防止のため「基本的な感染防止対策」を徹底する
【B】 観光 ・ 文化	<ul style="list-style-type: none"> ・北野家庄屋敷跡、上原典礼氏の記念碑、前田市市衛門氏の記念碑等々多数の文化財や史跡を有している ・地域に伝わる伝統行事が存続できない現状がある ・コロナ禍による観光客の減少が顕著である 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の資源を生かした魅力ある発信を模索する ●ボランティアガイドを育成すると共に、文化財や史跡を市内外に紹介する ●ガイドマップの作成 ●文化財の保護 ●三世交代交流十五夜大会を見直しをして、新たな内容を検討する
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化やコロナ禍による行動制限のため、あらゆる行事やイベントをはじめ社会生活全体に支障をきたしている ・地区住民が一同に会する機会が全くなりつつある 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者までが参加できる行事やイベントを通して、ふれあいの場づくりに努める。 ●まちづくりを推進するうえで重要となる「地域リーダー」の発掘・育成 ●振興会だよりの発行、ホームページの運営、関西及び関東有明会との交流
【D】 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化が加速度的に進み、子どもがいない地域が多みられる ・部活動が社会体育に移行する中で、子どもの送迎や移動等々子育て世代に新たな問題が生じている 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体で子ども達を見守り育てる環境づくりに努める ・長期休暇(夏休み等)中、赤崎地区コミセンを開放する ・小・中学校と一体となり、子ども達の健全な育成とふるさとを愛する心を育むように努める ・社会体育移行に伴う積極的な支援
【E】 保健・医療 ・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・地域、行政等が一体となって「高齢者にやさしい、安心して暮らせるまちづくり」に努めている ・単身の高齢者や高齢者夫婦世帯が増加しており、孤立化が懸念される 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が生きがいを持てるような機会や場所を提供すると共に、地域住民が安心安全に暮らせるような対策を推進していく。 ●ふれあいあいの場づくり、生きがいづくり ●見守り活動や一人暮らし世帯への弁当配付 ●地域健康診断の受診の呼びかけ ●ゴキブリ団子の配付 ●敬老会の開催 ●男の料理教室の開催
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家や危険家屋、耕作放棄地の増加また私有地、田畑、山林等の手入れ不足など、地域を取り巻く環境は年々悪化の一途をたどっている ・有害鳥獣(いのしし等)の増加に伴う農作物への被害が甚大である 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内一斉のクリーン作戦を継続的に実施すると共に、各地区における清掃活動を推進する事により、有害鳥獣の住処を作らせないようにする。 ●自主防災組織による「津波訓練」や「消火訓練」等の実施を支援する ●非常持ち出し袋の配付 ●宮浜会による防火のための夜警の実施
【G】 都市基盤整備		
【H】 総務・企画	<ul style="list-style-type: none"> ・振興会役員などの後継者が不足している 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の見直しや部会の編成を行う。 ・振興会活動のPRを行い、参加しやすく、意見を出しあえる環境(会議)にする。

赤崎地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期		長期			
				R5	R6	R7	4年以上		
B	あかさき十五夜大会	バザーやイベント、綱引きや、子供相撲等を行って地区住民との交流を図る。	参加者250人以上					振興会	
B	鬼火焼き	子供会と実施地区が協力して、年末に鬼火焼きの準備を行い、1月7日に火を入れて鬼火焼きを実施する。	参加者20人以上					協働 (振興会+区)	
C	赤崎地区球技大会	10月中旬にグラウンドゴルフ大会を開催する。地区住民の交流を深める。終了後は各区において打ち上げや反省会が行われる。	参加者約150人					振興会	
C	夜桜ライトアップ事業	3月末の1週間、旧赤崎小跡地の桜の木をライトアップし、地区内外の方に夜桜を楽しんでもらう。	花見客100人以上					振興会	
C	春爛漫グラウンドゴルフ大会	春先にグラウンドゴルフ大会を開催する。小学生から高齢者までが参加し、地区住民の交流を深める。	参加者約150人					振興会	
C	桜の木イルミネーション	12月上旬から1月まで、旧赤崎小跡地の桜の木にイルミネーションをする、地区内外の方に楽しんでもらう。	来場者100人					振興会	
D	子ども料理教室	12月に食改の協力・指導を得て、料理教室を行う	参加者15人以上					協働 (振興会+食改)	
D	夏休み体験事業	夏休み期間中に普段は経験できない様々な体験学習を企画。民泊体験や日帰り体験を実施。(4年生以上が対象)	参加者10人以上					振興会	
E	赤崎地区敬老会	振興会と婦人会の協力を得て、地区内在住の76歳以上の方を対象に敬老会を開催し、式典・演芸で楽しんでいただく。	年1回実施					協働 (振興会+婦人会)	
E	ゴキブリ団子配布	婦人会の協力を得て、ゴキブリ団子を作り全戸へ配布する。併せて、独居高齢者の見守りも行う。	年1回実施					協働 (振興会+婦人会)	
E	男の料理教室	男性を対象に食改の指導・協力を得て料理教室を年1回開催する。独りでも食事を作ることができるよう、メニューや調理法を身に着ける。	参加者10人以上					協働 (振興会+食改)	
F	自主防災活動	3月の第一日曜日に行われる有明地区の津波避難訓練に併せて、各区の自主防災組織でも訓練等を実施する。	参加者150人以上					協働 (振興会+区)	
F	クリーン作戦	7月の第一日曜日に地区住民全員で市道・河川・溝等の除草・清掃活動を行う。	年1回実施					協働 (振興会+各区)	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」、「協働」、「行政」を記載。

※「協働」とは「地域と行政との協働」、「行政」は「市」を指す。


赤崎地区振興計画 行動計画

②新たに取り組むべき事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期		長期			
				R5	R6	R7	5年以上		
B	ガイドマップ作成	以前に作成されたガイドマップをフットパスコースの紹介を含めたマップに見直し、地域住民に地元の魅力を再発見してもらう他、地域外へ赤崎の魅力を発信する。	1000部作成	→				振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」、「協働」、「行政」を記載。

※「協働」とは「地域と行政との協働」、「行政」は「市」を指す。

地区の概要(R2国勢調査参考)			
面積(km ²)	11.4		
人口(人)	総人口		751
	15歳未満		87
	15~64歳		346
	65歳以上		318
高齢化率(%)	42.3		
就業人口(人)	第1次産業		64
	第2次産業		96
	第3次産業		224
世帯数(世帯)	総世帯数	284	
	高齢単身者	51	
行政区数(区)	5		
学校	なし		
文化財・史跡	五輪の塔、キリシタン墓石、南蛮寺、老嶽神社、上津浦城跡、キリシタン上陸の地		
その他地域資源	老岳、四郎ヶ浜海水浴場、リップルランド、ゴルフ場		
地域伝統芸能	上津浦地区諏訪神社太鼓踊り		
地域づくり団体	上津浦地区夏祭り運営委員会		
地区のいいところ・自慢できるところ			
①人情味があり、温厚である。 ②キリシタン遺跡、四郎ヶ浜海水浴場等観光地が数多くある。 ③上津浦ダムで生活用水、農業用水が潤沢である。 ④名峰老岳からの展望が絶景である。 ⑤河川に鯉やメダカが多く泳いでいる。 ⑥田園地帯が広がっている。			
地区が抱える課題・困っていること			
●農業従事者の高齢化(後継者不足) ●地域連帯の希薄化 ●少子高齢化			

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	「できる人が、できる時に、できる事から」
考え方	地区民が主役となったまちづくりを実現していくために「自分たちの地区は、自分たちでつくる」という気運を高め地域の活動を支援しながら、自立した自治組織の構築に努め、事業実施にあたっては、「できる人が、できる時に、できる事から」という考え方で無理をせず持続性のある取り組みを行っていきます。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	第一次産業の低迷や公共事業の減少による地域力の低下	・各種イベント時のバザーにより産業の活性化を図りたい。 ・夏祭りにより、地域住民と出郷者(帰省客)との交流を深め、地域の課題を共有し、地域外から地域を応援する活動につなげ、将来の移住定住の増加を図る。 ○イベント時のバザー出店 ○交流人口増加を図る受入態勢の充実及び体制の整備
【B】 観光 ・ 文化	キリシタン遺跡、四郎ヶ浜海水浴場、上津浦城跡、名峰老岳等の観光資源を有している	・さざなみフェスタ等、町のイベントとタイアップした観光資源の周知を図り、第三次産業の活性化につなげたい。 ・他市町村からの観光客を誘致したい。 ○町のイベントに併せて宣伝
【C】 地域 振興	・高齢者による自主教室などの生涯学習活動が盛んである ・地区のミニバレー大会は毎年参加者の確保が困難である	・高齢者による健康づくりのためのグラウンドゴルフ大会を開催し、高齢者同士で交流をし、お互いに見守れる共同体をつくりたい。 ○グラウンドゴルフ大会の実施(年1回)
【D】 教育	・少子化の進行により、子育ての拠点である学校が減少し、少子化がさらに進む	・各種活動を通じて、地域内での子育て環境のよさをアピールしたい。 ○ミニバレーボール大会の実施
【E】 保健・医療 ・福祉	高齢化が進行し、高齢者の一人暮らしや高齢者のみの世帯が増加している	敬老会の開催や地域福祉ネットワーク事業の推進により地域全体で、常時互いに見守り活動を実施できるような地域をつくりたい。 ○敬老会の開催 ○地域福祉ネットワーク事業の推進
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	・観光地として、美しい町の景観が保たれている ・高齢化が進む中で、災害に強い地域をつくる必要がある	・国、県の補助事業を活用し、地域全体で農地の保全に取り組む。また、クリーン作戦や河川清掃活動、公共花壇の花植え活動や祇園様の桜の整備を継続して推進する。 ・年に1回、町の避難訓練に併せて、自主防災活動の実施。 ○クリーン作戦の実施 ○河川清掃活動 ○公共花壇の管理活動及び祇園様の桜の整備活動への支援 ○避難訓練の実施
【G】 都市基盤整備	・河川に土砂などが堆積しており、特に梅雨時期や台風時期など大雨が降った際に氾濫する恐れがある	・河川の危険な箇所を確認し、行政と協力し、堆積土砂の撤去等を実施する。
【H】 総務・企画		

上津浦地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期 4年以上		
				R5	R6	R7			
A	上津浦地区夏祭り	各種イベントやバザー出店	来場者500人以上				→	振興会	
D	各種スポーツ大会	9月 グラウンドゴルフ大会 11月 ミニバレーボール大会 3月 ソフトボール大会	合計3回実施。				→	振興会	
E	敬老会	敬老会への参加	敬老会の65%の参加				→	振興会	
C	一人暮らし高齢者等弁当配布事業	一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯などに弁当をつくり配布する事業	年間1回以上活動実施				→	振興会	
F	クリーン作戦 河川清掃活動	河川、道路、海岸等の清掃活動	年間2回以上活動実施				→	振興会	
F	自主防災活動	消防団と協力し、消火栓等を使用した消火活動訓練の実施。津波を想定した避難訓練の実施	年間1回以上活動実施				→	振興会	
G	河川整備	上津浦地区を流れる河川について、複数箇所土砂や雑草が堆積しており、大雨時に氾濫する危険があるため行政と協力し、土砂撤去等を行う	上津浦4河川の土砂撤去				→	行政	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km ²)	8.55	
人口(人)	総人口	351
	15歳未満	25
	15~64歳	134
	65歳以上	192
高齢化率(%)	54.7	
就業人口(人)	第1次産業	51
	第2次産業	27
	第3次産業	95
世帯数(世帯)	総世帯数	147
	高齢単身者	29
行政区数(区)	3区	
学校	なし	
文化財・史跡	<p>【文化財】 諏訪宮・十五社宮・清正公様・稲荷社・祇園社・庵寺跡 など</p> <p>【史跡】 権六古墳</p>	
その他地域資源	<p>伝統的に果樹(柑橘類)の生産が盛んで、近年はデコボン栽培が大半を占める。 また、秋には地域内を横断する下津浦川河川堤防沿いに彼岸花が咲き誇り、彼岸花ロードができあがる。</p>	
地域伝統芸能	<p>下津浦諏訪宮秋季例大祭神幸行列並びに太鼓踊り ※昭和53年 全国青年祭において優秀賞を受賞。</p>	
地域づくり団体	<p>老人会・子ども会・営農組合・グラウンドゴルフ愛好会・下津浦太鼓踊り保存会</p>	
地区のいいところ・自慢できるところ		
<p>【住 民】素朴で人柄が良く、人情味に厚い 【地域連携】毎月の地区常会により意見交換も良く行われ、連絡の周知徹底も図られていることから、地域のまとまりも良い 【伝統芸能】地域内にある諏訪宮の秋季例大祭時に奉納される太鼓踊りが、伝統的に継承されている 【産 業】デコボン栽培が盛ん 【環境活動】・自主的に資源物の回収作業を行い、ゴミ減量・リサイクル促進に努めている 【収益活動】各種イベントでバザー等を行い、自主財源を生み出している</p>		
地区が抱える課題・困っていること		
<p>下津浦地区では、若者の地域外流失により過疎化が進行し、少子化はもちろん高齢化率も54%を超えている。その結果、地域内の主産業である農業における後継者不足が深刻である。 今後は高齢者をはじめとする地域住民が豊かで快適な生活をおくり、未来を担う子どもたちに誇れる地域をつくるために、いかに地域内に活力を生み出すかが課題である。</p>		



下津浦ひな祭りのようす

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	<p>住み続けたいまちをつくり生き抜こう 少子高齢化時代 ～笑顔あふれる彼岸花の里～</p>
考え方	<p>今や避けられない事実となった少子高齢化の地域にあって、今後はコミュニティや生活環境の健全化を図ることで住みやすいまちづくりを目指す。</p>

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	地域内の主産業である第一次産業の振興と地域の活性化を図るため、特産品開発などに取り組む。	・関係機関、団体との連携、協力
【B】 観光 ・ 文化	伝統文化を継承し、郷土愛をもった子どもたちの育成を図る。	・伝統文化の継承
【C】 地域 振興	少子高齢化が進むなか、地域の諸課題を認識し、高齢者ならではの経験豊富な知識と発想を活かした地域づくりに努める。	・各イベントを通じて地域内外の交流を促進する ・各種団体との連携を図る(子ども会・老人会など) ・広報紙やホームページを活用し、地域内外に情報を発信する
【D】 教育	少子高齢化が進むなか、地域の宝である子どもたちに、地域のよさを知ってもらい、各種体験を通じて思い出づくりと健全で豊かな心、郷土愛をはぐくむことを目的とする。	・各種団体(子ども会など)との連携を図る
【E】 保健・医療 ・福祉	超高齢社会の中で、高齢者が生きがいを持ち、自ら生き抜くための福祉・ボランティア活動を積極的に行うための仕組みづくりを推進し、明るく元気な長寿のまちづくりに努める。	・健康増進と交流の場づくり ・見守りネットワークの強化 ・食育の推進
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	後継者不足による田畑の荒廃、水質・土壌等の汚染・汚濁など自然環境の荒廃が進んでいる。地域内の生活環境の整備及び環境づくりに努め、快適で住み良いまちづくりを目指す。	・花の名所づくり運動による環境美化 ・防災訓練による危機意識の醸成
【G】 都市基盤整備		
【H】 総務・企画		

下津浦地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業


分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期 4年以上		
				R5	R6	R7			
A	特産品開発	関係機関や団体と協力し、特産品開発を目指す。	彼岸花の推進 (球根、肥料の購入)	→				振興会	
B	伝統文化継承	少子化による、伝統芸能・太鼓踊りの存続の危機を回避するため、ふるさと応援寄付金を財源とした支援を行う。	5年以上継続	→				協働(振興会+太鼓踊り保存会等)	
C	ひな祭り	地域住民から寄付いただいた、ひな人形を展示。数年1回バザーやステージイベントなどのひな祭り会を実施する。	来場者200名以上	→				振興会	
C	広報紙の発行	地域内の全世帯に広報誌を発行する。	年6回の発行	→				振興会	
C	ホームページの運営	地域内の情報をホームページ上で随時発信していく。	毎月5回の更新	→				振興会	
C	秋祭り(彼岸花フェスタ)	地域内の祭りに併せて、バザーや抽選会、もち投げを行う。	来場者300名以上	→				振興会	
C	下津浦ふるさと応援団	下津浦出身者に、地区振興会広報誌を送り下津浦の応援団になってもらい、交流人口の増加に繋げる。	年間30通(5名×6回/年)	→				振興会	
C	憩いの場づくり	コミセンの一部屋を開放し、住民の集いの場を提供する。	年間を通じて実施(平日の9~17時)	→				振興会	
C	コミセン講座	コミセンの利用者増加と住民の生きがいを目的とした、講座を開催する。	年1回開催	→				振興会	
D	夏休み寺子屋	他地区振興会と合同で民泊事業や日帰り体験事業を実施する。	年1回開催	→				振興会	
D	自然観察会(フットパス)	地元の方を講師に、地域内の植物や野鳥の観察会を行う。	年1回開催	→				振興会	
D	映写会	コミセンの映写機器等を使用して、住民向けに映写会を行う。	年4回開催(来場者15名×4回)	→				振興会	
D	鬼火焼き	旧有明西中プール跡で実施されている鬼火焼きを地区振興会で継承する。	年1回開催	→				協働(振興会+各団体)	

下津浦地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期		
				R5	R6	R7	4年以上		
E	球技大会	下津浦小学校創立記念としてグラウンドゴルフ大会を開催する。	参加者150名以上					振興会	
E	敬老会	地域内の76歳以上の方を対象に、敬老の式典を開催する。	敬老対象者6割以上の参加					振興会	
E	料理教室(年2回) 弁当作り(年2回)	・食生活改善推進員と連携し、料理教室を開催する。 ・一人暮らしの高齢者を対象に配布	年2回開催 (来場者10名×4回)					協働 (振興会+食改)	
F	クリーン作戦	快適で住み良いまちづくりを目指し、清掃作業を実施する。	年1回実施 (7月)					振興会	
F	花の名所づくり運動	関係団体と協力し、彼岸花の植栽や除草作業を行う。	年3回実施 (7月、9月、3月)					協働 (振興会+みどりの会)	
F	資源物回収活動	年間を通じてアルミ缶の回収を行う。	毎月2回実施					振興会	
F	防犯対策	犯罪防止や事故防止を目的に、設置済みの防犯カメラの管理や看板の設置を行う。	(防犯カメラ: R4年度までに5台設置済み)					振興会	
F	市道清掃ボランティア	衛生的な生活環境づくりを推進するため、各ボランティア団体と共同で市道沿いの除草作業を行う。	年2回実施					協働 (振興会+各ボランティア団体)	
F	防災訓練	自主防災会や消防団と連携し、防災訓練を行う。	年1回実施					協働 (振興会+行政)	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

地区の概要(R2国勢調査参考)		 <p style="text-align: center;">島子湾から見た島子の風景</p>	
面積(km ²)	11.2		
人口(人)	総人口		1376
	15歳未満		120
	15～64歳		569
	65歳以上		687
高齢化率(%)	49.9		
就業人口(人)	第1次産業		68
	第2次産業		87
	第3次産業		370
世帯数(世帯)	総世帯数	497	
	高齢単身者	93	
行政区数(区)	11区		
学校	なし		
文化財・史跡	<ul style="list-style-type: none"> ・対岳楼跡あこう樹(天然記念物)・唐津武士の墓(天草の乱で討死) ・諏訪神社・津波供養碑・天草古地図・小島子城跡・大島子城跡 ・天草の乱古戦場(初戦の地)・対岳楼跡 		
その他地域資源	動鳴山 島子諏訪神社、八幡宮、十五社宮の桜		
地域伝統芸能	島子諏訪神社秋季例大祭神幸行列並びに太鼓踊り		
地域づくり団体	婦人会・長寿会・子ども会・島子太鼓踊り保存会・つわの花		
地区のいいところ・自慢できるところ			
<ul style="list-style-type: none"> ・雲仙を望める有明海の海岸線やホテルが見られる河川など美しい自然環境に恵まれている。 ・近所付き合いがよく、常に隣同士の会話が行われている。 ・地区の球技大会も49回を超え、歴史あるイベントになっている。以前はバレー大会だったが、現在は、ミニバレーとグラウンドゴルフを実施している。 ・島子地区には、先人たちが残した過去を知る跡や、その時代の状況を物語る場所が多数あります。(「ふるさと島子探訪」H9冊子を各戸配布。発行:島子地域づくり推進協議会) 			
地区が抱える課題・困っていること			
<ul style="list-style-type: none"> ・有明町内で最後の単独校として存続していた島子小学校が平成30年に閉校し、有明小学校として統合された。子ども達やその保護者の減少により地域の活力が低下している。 ・地域の高齢化に向け、高齢者から子どもまで一体となり、地域資源を活用した地域づくりの推進が必要である。 ・かつての主要な産業であった農業、漁業等一次産業の後継者不足により、地域産業が低迷してきており、農地、果樹園の荒廃による跡地利用が問題となっている。 ・一人暮らしの高齢者が施設入所することが多くなり、それに伴い空き家が増えてきている。手入れされていないため、危険家屋対策も課題となっている。 			

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

<p>テ ー マ</p>	<p>生き残る島子を創ろう！</p>
<p>考 え 方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが住みたくなる島子づくり。若年層の定住を促進し、子ども達の笑顔あふれる島子をつくりましょう！ ・高齢者が元気な島子づくり。高齢者の生きがいと雇用のある島子をつくりましょう！ ・自然と環境にやさしい島子づくり。山・川・海を守り、自然の生き物が住める島子をつくりましょう！

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の安定した収入を確保するため、以前、食品加工製造販売事業(イチゴ大福)を手掛けたが、後継者不足で継続困難となった。当面は、地域イベントでの農産物販売を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベント内で地域の農産物等の販売及び出店者の募集
【B】 観光 ・ 文化	<ul style="list-style-type: none"> ・島子地区には、先人が残した史跡や当時の状況を物語る場所が多数あり、H23に名所・旧跡をまとめたマップを作製、併せて標柱を設置。 ・有明フットパスに合わせたボランティアガイドの養成に力を入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の名所・旧跡を案内するボランティアガイド養成講座の実施
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> ・島子小学校の閉校により、合同で実施していたイベントができなくなったため、単独で実施可能なイベントを検討している。 ・地区コミュニティセンターで実施されている自主講座の推進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区球技大会の実施 ・振興会だよりの発行やホームページ・SNSを活用した情報の発信
【D】 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土愛の醸成とふるさと再発見を目的に、それぞれの年代に応じた体験学習を行う。 ・小学校の部活動が社会体育活動へ移行し、島子ではサッカーやソフトボールの社会体育団体が活動している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども体験事業として天草各地の体験学習を実施 ・地区内の小中高生が地区振興会活動に参加できるような事業の実施 ・社会体育団体のバックアップ
【E】 保健・医療 ・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化が顕著なことから、子どもと高齢者の交流を図る場を提供する。 ・子ども会や長寿会と連携し、地区住民が安心して生活できる環境づくりを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見守りネットワークによる高齢者や子供たちの見守り活動 ・地域全体での敬老記念品配布事業
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	<ul style="list-style-type: none"> ・河川の浄化や海岸の清掃活動を通し、自然環境の保全及び自然生物が生育できる環境づくりを行う。 ・自然災害へ対応するため避難訓練等を実施する。併せて災害弱者の救助対策を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーン作戦の実施による地域内の美化清掃 ・花いっぱい運動による地域景観の充実 ・各行政区主催による防火訓練等の実施 ・災害時における地区内役割の確認、避難時目印タオルの普及活動
【G】 都市基盤整備		
【H】 総務・企画		

島子地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期 4年以上		
				R5	R6	R7			
A	各種イベント出店	・秋季例大祭のお祭りバザー、しまご春まつりへの出店	地域内イベントに出店	→				振興会	
C	生涯学習活動支援	・5人以上が所属する自主講座に対し、回数を決めたうえで消耗品購入の支援を行う。	12団体が活動	→				振興会	
C	地区球技大会	・ミニバレーは、各区から10チーム以上が参加 ・グラウンドゴルフは、40名以上が参加	合わせて100名以上の参加で年1回実施	→				振興会	
C	しまご春まつり	・H21年に桜まつり、H23年からしまご春まつりとして開催 ・ステージイベント、物産販売、大抽選会等を実施	市内外合わせて300名以上の参加で年1回実施	→				振興会	
C	しまごフォトパス	・地区内在住の高校生を対象に、写真撮影技術等を講義し、地域資源の再認識を促す。	年1回実施	→				振興会	
D	子ども体験事業	・地区内在住の小学4～6年生を対象に、市内各地で体験学習を実施する。	20名以上で、年1回実施	→				振興会	
E	見守りネットワーク	・通学時のあいさつ運動。スクールバスの見守り活動 ・夏休み中の早朝ラジオ体操に大人も参加するよう呼び掛ける。	あいさつ運動は20名以上の参加で実施	→				振興会	
E	敬老記念品配布	・300名以上の対象者に記念品を配布する。	対象者に対し年1回実施	→				振興会	
F	クリーン作戦	・年2回、除草作業やゴミ拾い、海岸漂着物の除去を行う。	500名以上の参加で年2回実施	→				振興会	
F	避難訓練	・有明町内一斉訓練に合わせて、津波避難訓練を実施。各区で避難目印タオルの取り組みを啓発	全地区合わせて350名以上の参加で年1回実施	→				振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

